

特許紹介

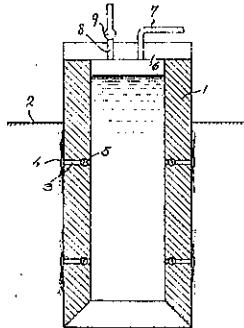
第 23 卷 第 1 号 昭和 12 年 1 月

井筒沈下方法の改良

(特許第 117504 号 特許権者(發明者) 柳本昌三)

此の發明は、井筒の側壁に横溝(3)を設け、その外端に嘴子(4)を附設し、内端には一方弁(5)を配設し、井筒側壁に沿ひ、井筒内の圧力水を噴射せしめつゝ井筒を沈下せしむる方法であつて、従來のものに於ける如く井筒内に射水管を埋置することなく、井筒沈下時に、井筒外周に水を注加して、其の抵抗を減ぜしめるを目的としたものである(図-1)。

図-1.



粘土より硬水軟化剤を製造する方法

(特許第 117633 号 發明者 鈴木鑑) (特許権者(發明者) 永井第一郎)

此の發明は、カオリンを主成分とする粘土を原料とし、之より有用なる硬水軟化剤を簡便經濟的に製造するを目的として考案したものであつて、即ち礬土珪酸鹽水和物である礬土礬石粘土、耐火粘土の如きカオリンを主体とする粘土の粉砕物を苛性アルカリ液と共に水熱式處理を施し、カオリン中の結合水の一部をアルカリにて置換したアルカリ礬土珪酸鹽水和物を生成し、之を濾過して濾過殘滓を硬水軟化剤として利用する方法である。

建築構材骨組法

(特許第 117774 号 特許権者(發明者) 橋本道三郎)

此の發明は、二つの三角形(例へば EFG, HIJ)と一つの四角形(例へば ABCD)との三つの基本單位構材を先づ二つの三角形の各々の一邊を(EF, IJ)一線上にある如くに連結して連結邊を作り、V字形に曲げ、其の度合は相對する二つの頂點(E, H)と、四邊形の何れかの相對する二つの頂點(A, C)とを互に連結し得る迄曲げ、三角形の此の2頂點と四角形のこの2頂點とを連結し、此の三つと基本單位構材を含む三つの平面は互に交つて一見三角筒を構成する如き合成單位構材を作り(図-2)、次に合成單位構材は、先づ三角形の連結邊は互に平行する如く配置し、四角形の頂點を互に連結組立

て、次に連結邊の兩端に他の合成單位構材の連結邊の兩端を連結すると共に、各四角形の頂點をも互に連結し、結局組立てられた壁體は總體的に三角筒の連続の如き断面を有する平面壁又は曲面壁(図-3)を構成する建築構材骨組法であつて、骨組組立の簡易を目的としたものである。

図-2.

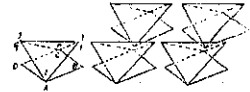
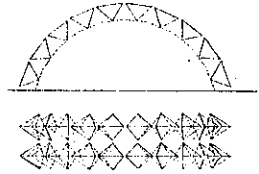


図-3.



建築構材骨組法

(特許第 117775 号 特許権者(發明者) 橋本道三郎)

此の發明は、三角形(ABC)と四角形(DEFG)の二つの基本單位構材を先づ1頂點(A)(G)だけにて連結して三角形を含む平面と四角形の1對角線とは同一平面内にあつて、兩角形を含む各平面は交錯して一見T字型となる如き合成單位構材(図-4)を作り、次に合成單位構材を先づ三角形を含む平面は互に平行する如く配置して四角形の隣接する頂點を互に連結組立て、次に他の合成單位構材を組立てるに當り、各合成單位構材の三角形は前平行平面内にある如く配置して相接する各合成單位構材の各頂點を互に連結し、結局組立てられた壁體は總體的にT字型を連続する如き断面を有する平面壁又は曲面壁(図-5)を構成する方法である。

図-4.

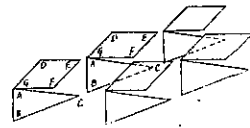


図-5.



セメントモルタル、セメントコンクリート石材 及木材等の表面に防水防腐蝕磨耗抵抗 力を増かせしむる方法

(特許第 117783 号 特許権者(發明者) 大倉親光, 池田重吉, 山本信行)

此の發明はセメントモルタル、セメントコンクリート石材及木材等の表面に珪酸ナトリウム及珪弗化鉛酸又は珪弗化苦土の如き水に可溶性の珪弗化鹽類の溶液を

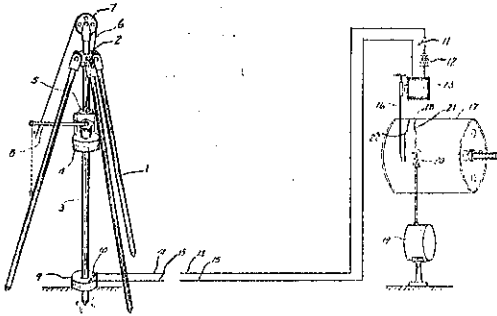
交互に各 1 回又は數回塗布する方法である。

重錘落下による地下探査装置

(特許第 118000 號 特許權者(發明者) 那須國治, 武智正次郎)

此の發明は、重錘を地表に落下して、地中に弾性波を人為的に發生せしめ、その弾性波の傳播の狀況を明確に記録し得る装置を得んとして考案したものであつて、即ち三脚を以て支持した支柱(3)、支柱に緩裝した重錘(4)及之の懸吊装置(6, 7...), 重錘落下の瞬時に切斷せらるゝやうにした電氣回路(10, 14, 15...), 電氣回路内の電磁石(13)と協働して所定速度を以て回転せる円筒(17)上に重錘落下に依る地中波動の川發時を記録せしめる尖筆(16)、及地中波動傳播の狀況を円筒(17)上に記録せしめる震動計(19)とを組合せたものである

図-6.



(図-6)。之に依れば記録線(21)内の各波動を解析し、且つ記録線(18)内の點(22)の位置及円筒(17)の廻轉速度を基準とし、各種波動が観測點に傳播し來るに要した時間を決定することが出来、震動計の設置位置、即ち測定距離を種々に変更し、之を反覆して得た結果と、地中弾性に關する既知の事項とを基とし、地中弾性の變化の狀況、及地中基盤の存在狀況を測定し得る。

傾角衝擊による地下探査法

(特許第 118001 號 特許權者(發明者) 那須國治, 武智正次郎)

此の發明は、任意の傾角を以て、地表に衝擊を與へ、地中に押し波及引き波の 2 種の弾性波を人工的に發生せしめ、之等 2 種の弾性波の地表に於ける分布の境界

図-7.

地中弾性が濃さと共に變化せる場合

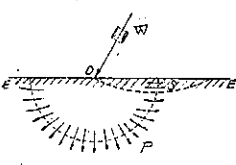
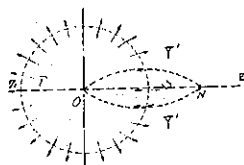


図-8.

図-7の平面図



線を直接或は間接に測定し、地中弾性の變化及基盤存在の狀態を推定する地下探査法である(図-7, 8, 9, 10)。

図-9.

地中に基盤が存在せる場合

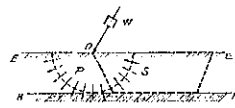
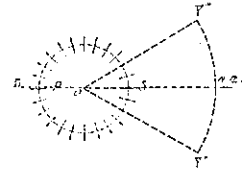


図-10.

図-9の平面図

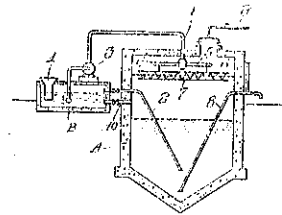


汚物分解促進装置

(特許第 118005 號 特許權者(發明者) 西原啓三)

此の發明は、分解槽(A)内の腐熟分解物を分解槽外に於て新入汚物と適當に混和せしむる爲混和槽(B)を設け、混和槽内の混和液を圧力の下に分解槽(A)上に送致し、反動回転式噴液管(5)に依りて之を分解槽内に等布するやうにした汚物分解促進装置である(図-11)。

図-11.



セメント等の注入機に於ける自働擴縮密塞装置附注入管

(特許第 117637 號 發明者 藤地雄) 特許權者 株式会社高炭礦株式會社

(附) 登録實用新案

- 双口消火栓 (第 228420 號 實用新案權者 公告 11 年 第 5200 號 松井浩一郎)
- 不凍式消火栓 (第 228738 號 實用新案權者 公告 11 年 第 4244 號 山本平一郎)
- コンクリート杭築設装置に於けるコンクリート注入器 (第 228664 號 實用新案權者 公告 11 年 第 5844 號 河田辰吉)
- 金網蛇籠 (第 229607 號 實用新案權者 公告 11 年 第 6806 號 上島阿彌)
- セメント乳注入機に於ける注入圧測定装置 (第 229214 號 實用新案權者 公告 10 年 第 8907 號 日下部海太郎外 1 名)
- 測量機用三脚 (第 229611 號 實用新案權者 公告 11 年 第 9273 號 牛芳錦子)
- コンクリート管の接手 (第 229540 號 實用新案權者 公告 11 年 第 5895 號 和田忠治)
- コンクリート攪拌機 (第 229785 號 實用新案權者 公告 11 年 第 9023 號 小山秀松)
- 蛇籠 (第 230071 號 實用新案權者 公告 11 年 第 16513 號 木崎鐵)
- 路均機の運轉裝置 (第 230123 號 實用新案權者 公告 11 年 第 10014 號 杉科彌)

(吉藤幸朔)